

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161	15-109	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Sex Differences in the Personality and Cognitive Characteristics of First-Time DWI Offenders. 飲酒運転初犯者の性格および認知特性の性差について		
<b>執筆者</b>		
Brown TG, Ouimet MC, Nadeau L, Tremblay J, Pruessner J.		
<b>掲載誌</b>		
J Stud Alcohol Drugs. 2015 Nov;76(6):928-34.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
飲酒運転、アルコール、衝動性		26562601
<b>要 旨</b>		
<b>目的：</b> 飲酒運転の防止は公衆衛生にとって重要な問題である。近年、男性だけでなく女性の飲酒運転が増加傾向にある。男性の飲酒運転は、刺激追求性や衝動性といった性格特性と関連することが報告されている。本研究は、男性の飲酒運転者は刺激追求性、衝動性や応答脱抑制と関係し、女性はアルコール乱用と関係していることを仮説として飲酒運転初犯者の性格特性を男女別に検討する。		
<b>方法：</b> 18-44 歳の飲酒運転初犯の男女（217 人）と違反歴のない運転者対照群（79 人）を対象に心理社会的特性、薬物使用、人格、応答脱抑制について調査・比較を行った。		
<b>結果：</b> 我々の仮説は部分的に支持されるものであった。女性の飲酒運転初犯者は、対照群と比較してアルコール乱用の重症度が有意に高かった。この特徴は男性には認められなかった。また、著者らの仮説に反して、男性の衝動性、刺激追求性や応答脱抑制に有意差は認められなかった。さらに、予想に反して女性の飲酒運転初犯者は衝動性が高いという結果であった。		
<b>結論：</b> 本結果は、（これまでに報告されていた）男性の飲酒運転と刺激追求性、衝動性や応答脱抑制との関連は認められなかった。一方、女性の飲酒運転初犯者は対照群女性に比べて、アルコール乱用度が高く、衝動性に関係することが示された。これらのことから、飲酒運転撲滅のためには、性別に異なるアプローチが必要になるのかもしれない。		